



床吸音材の製造

フェルトと不織布の製造業。今までかたよっていた自動車産業以外にも発展の可能性を求め建材業界に進出。フェルトの特性の吸音性を活かし、自社の「**多種多様なフェルトの製造技術**」を活用し、建築の防音材・フローリングの吸音材の生産を開始した。

業況等の動向について

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

岡崎市周辺は反毛の産地であり、企業形態としては、反毛繊維を紡績して布地をつくるか、反毛を圧縮して不織布をつくるかに大別される。当社は始め紡績のガラ紡から出発したが、将来紡績業は新興アジア諸国が進出することを予想、不織布をつくるフェルト製造会社に移行した。その後発展した自動車産業に進出。売上げの多くを自動車業界に依存することとなった。亡くなった先代社長が売上げが自動車産業だけにかたより過ぎ、将来の安定経営のためには多角化が必要ということで、他業種への展開を模索、建材業界への進出を図った。フェルトは柔軟かつ軽量のため加工が容易であり、自動車の軽量化、燃費の向上に有用であった。もともと「自動車の中での快適な住空間」というテーマで、吸音性や緩衝性のあるフェルト製品の「ファインニードル」や「ファインライト」を商品化してきた。反毛繊維に特殊加工を施すことで、硬質で緩衝性にすぐれたものに仕上げたフェルトには「ファインニードル」、低密度、かさ高で吸音性にすぐれたものに仕上げたフェルトには「ファインライト」というブランド名を付け、一般にもよく知られるものとなった。特に「ファインニードル」は、プラスチックよりしなやかで、形態の安定性や、耐久性・弾力性にすぐれ、しかも裁断・加工も非常に容易であるということで、自動車のトランクマット材ベッド、家具のスプリングサポーターをはじめ、スポーツ用品の芯材、靴のインソール、工業資材など広範囲に利用されてきた。

今回はフェルトの吸音性を活かすということで、吸音フェルトを箱形に成形。なんと1㎡中、裏表合わせて2,560個の吸音ボックスができた。その効果と、従来の遮音、制振材を複合することで、今までにない夢の防音マットが誕生した。重量衝撃音、軽量衝撃音、透過音共にすぐれた効果を発揮する。

参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

成果のあったこととしては、若干の売上げ増。参入先の建材業界の内情について、知ることができた。

困難だったのは、他業種に参入したため、その業界の法規制、業界の体質などを会得するのに時間がかかったことである。

業況等について

本業の業績に関しては、3月の震災とタイの洪水がスポット的には厳しいが、おおむね横這いで推移。新規参入事業に関しては、現在、売上高は 10,000 千円(売上高構成比 2~3%)と、業況的には軟調である。

今後の展望・見通し

見通しは現状維持で継続であるが、気持ちとしては拡大。コストの見直しをして、価格競争力を付けるようにしたい。

メリット・デメリット

メリットとしては多業種展開による経営の安定。他業界のことについて知ることができることである。デメリットはハイリスク、ハイリターンという投資のリスクがある。

異業種参入時のアドバイス

相手の業界慣習とコンプライアンスを理解した上での進出が必要。業界のコスト体質を見極めることも重要。スキマに入るため、常に世の中のニーズを敏感に把握し、どのようなかたちで提供できるかを考え、またそのかたちを具体化し、市場に速やかに提供できる体制を持つことが必要。会社の切磋琢磨を図ることは大事。技術力を研鑽し細心の注意をもって品質の保持、向上に努力することが重要である。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度
繊維生活産業振興事業費補助金

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

各種業界の業界固有の情報を収集し、異業種参入する企業が参入の際に利用できるように、業界情報が得られる仕組みを作ってもらいたい。

会社概要

設立:昭和 43 年

資本金:10,000 千円

従業員数:30 名

U R L : <http://aoyamainc.co.jp>